

—総括表—

◆ 事業計画

☐ 地域の現状と今後の方向性

旭北地区では、地域福祉保健計画・地区別計画の推進母体である「まちぐるみ福祉推進会議」を中心に、役員・実務者が連携しながら、各種地域課題の共有・解決に向けた活動に活発に取り組むエリアです。

課題は、①地域ケアプラザが担当エリアの端にあることで利用者が偏在がちになってしまうこと。②まちぐるみ福祉推進会議での取組自体が目的となりがちなこと。③子ども支援に関わる活動が複数行われていますが、連携が十分ではないこと。④認知症や障害への理解度も深めていくこと。⑤多問題を抱えるケースが増えていること。

方針としては、高齢者、子育て世帯、障害のある方など、誰もが地域の中で困りごとを抱えて孤立することのないよう、介護・医療や生活支援・介護予防等と地域住民による見守りや助け合い等の一体的な支援を行います。また、地域住民が主体となって、つながり支え合う地域づくりを進められるよう、第5期旭区地域福祉保健計画（きらっとあさひプラン）の推進等を通じて、地域の課題を地域住民や関係機関と共有し、「まちぐるみ」で解決に向けた話し合いや活動を支援します。・新たに第5期指定管理期間（令和8年度～令和12年度）が始まります。引き続き地域の皆様とともにつながり支え合う地域づくりを目指します。

・第5期旭区地域福祉保健計画実施期間の初年度となります。旭北地区福祉保健計画の目標実現に向けて、地域情報の収集と地域ケアプラザの機能を活かした支援を実施します。また、地区支援チームの会議などで共有し、解決や地域への協力につなげます。

・より多くの地域住民に地域ケアプラザを知ってもらい、利用してもらえることを目的に、各世代に向けての事業を展開し、地域ケアプラザの機能や役割を周知します。事業実施にあたっては、地域住民と連携・協働して、地域ケアプラザ全部門で取り組みます。

・誰もが参加しやすく介護予防のきっかけ作りやフレイル予防のための継続的な講座を実施するとともに、地域ケアプラザ以外の場での介護予防の普及啓発と見守りの活動の支援に繋がります。

・認知症の正しい知識を学び、地域社会の認知症に対する理解を深めるためチームオレンジ活動を行います。

新規
継続

—具体的な取組内容—

☐

■

所長・包括・両Coの6職種および地区別支援チームにて方向性を共有して地区別計画のまちぐるみ福祉推進会議（年4回）に参加。まちぐるみ福祉推進会議の各部会において、地域の主体性を尊重しながら適宜内容の整理や声かけを行い、課題・目的を意識して取組を進められるように支援する。また、会に参加していない住民へ広く情報発信を行う。

☐

■

包括に寄せられた総合相談および地域活動場面で把握した情報を5職種で共有し、自治会町内会ごとに傾向を分析する。分析結果を見える化し、自治会や各種団体へフィードバックし、必要なエリアに必要な事業展開ができるよう働きかけをしていく。

☐

■

5職種で連携し、地域の介護予防ニーズを収集すると共に、参加しやすい会場で出前講座を実施し介護予防・権利擁護に取り組むと共に、既に活動しているグループの情報提供も行っていく。地域からの要望に応じて、単発的な出前講座だけではなく定期的な講座開催を一緒に企画していく。活動を行なった際は地域のインフォーマル情報も周知し既存の自主活動等へつなげ、継続的な活動支援を行う。サービス事業所とも介護保険情報含め共有し、一緒に地域の介護予防を進めてもらえる働きかけを実施。

☐

■

認知症そのものの理解を深めていただきつつ、認知症の方や家族の思いも考えていただきながら、認知症の方、家族が生活しやすい地域に近づけていく。そのために、7月に認知症サポーター養成講座、9月に若年性認知症がテーマの映画上映会、2月に「認知症世界の歩き方」を利用した講座を開催。また自治会、町内会にも働きかけ、その集まりの中で「認知症世界の歩き方」の講座を行っていく。

◆ 事業報告・事業実績評価

☐ 振り返り☐ 区からのコメント

令和8年度横浜市上白根地域ケアプラザ事業計画書・報告書(施設運営、介護保険事業)

1 施設の適切な運営について

	公正・中立性の確保について	コンプライアンス等への対応について (事故報告、個人情報保護、備品管理簿)
取組計画	地域住民や利用者の視点にたった対応を心掛け、介護保険事業者等に対しても公正・中立な立場にたち、利用者やその家族に介護保険事業者を紹介する際は、偏りが生じないように情報提供します。 1 介護保険事業者の選定においては、ハートページ等を活用し、契約時においては選定割合を提示して複数の事業所の情報を伝えることで相談者が選択でき、不利益が生じないように情報提供を行います。 2 施設利用においては、会場予約が公正に対応できるよう分かりやすい説明資料として「利用の手引き」を更新して配布します。	1 事故防止体制については、事故対応マニュアルに則り、関係機関と連携し対応します。 ①ヒヤリハットや他施設の事故事例を、内部会議・終業時のミーティングで共有し、日常点検や手順の見直しを行い、未然防止に取り組みます。 2 個人情報保護については、法人の規程及び取扱基準を遵守します。 ① 個人情報が含まれる書類等は施錠可能な専用棚での管理を徹底します。 ② 個人情報の持ち出しには帳簿で相互チェックを行います。サービス提供票・実績などの郵送は、法人統一の手順に沿ってダブルチェックで誤送付を防止します。 ③ 職員全体会議等でコンプライアンス及び個人情報保護に必要な研修を実施します。
実績		

2 指定介護予防支援事業、居宅介護支援事業

	指定介護予防支援事業 第1号介護予防支援事業	居宅介護支援事業
目標	1 高齢者が「要介護状態になることをできるだけ防ぐ(遅らせる)」「要支援状態になってもその悪化をできる限り防ぐ」ために、高齢者自身が地域において自立した日常生活を送ることができるようなケアマネジメントを行います。 2 心身機能の改善だけでなく、地域の中で生きがいや役割をもって生活できるよう、「心身機能」「活動」「参加」にバランスよくアプローチするケアマネジメントを実施します。	1 利用者及び介護者の支援を常に意識し、自立支援を目指した満足度の高いケアプラン作成を行います。 2 ご利用者一人ひとりの状況や意向を踏まえ、適正・的確なケアプラン作成を目指します。また、通所介護や地域包括支援センター、地域交流、生活支援と連携し、地域に根ざした包括的支援体制づくりを進めます。 3 選ばれる居宅介護支援事業所を目指すため、ケアマネジャー一人ひとりの資質向上を図り、多くの事例を通しマネジメント力を強化できるよう内部/外部研修や定期的なケースカンファレンスを行います。
利用料金	【サービスに係る費用】 指定介護予防支援に要する費用の額の算定に関する基準(厚生労働省告示第百二十九号)及び横浜市介護予防ケアマネジメント実施要綱に基づく金額	【サービスに係る費用】 指定居宅介護支援に要する費用の額の算定に関する基準(厚生省告示第二十号)に基づく金額
	【その他料金】 なし	【その他料金】 なし
職員体制	看護師 1名(常勤・管理者)、主任ケアマネジャー1名(常勤)、社会福祉士1名(常勤)、保健師1名(常勤)、介護支援専門員等3名(非常勤)	管理者 1名(常勤兼務) 介護支援専門員 3名(常勤兼務1名/非常勤2名)
契約者数		

3 通所系サービス事業

	通所介護・第1号通所介護	(介護予防)認知症対応型通所介護	地域密着型通所介護
目標	利用者の自立支援、重度化防止を目指し、生活の一部として安心安全にお過ごしいただけるよう、次のサービスを中心に提供します。 ●生活指導(相談援助等) ●機能訓練(体操・歩行練習、音読等) ●介護サービス(入浴・昼食・排泄等支援) ●健康状態の確認		
実施体制	【実施日数】 ・計308日(週6日・日-金曜日) ・毎週土曜日と12月29日から1月3日は休業 【提供時間】 ・10:15 から 15:20 まで 【定員】 ・35名	【実施日数】 【提供時間】 【定員】	【実施日数】 【提供時間】 【定員】
利用料金	【サービスに係る費用】 指定居宅サービスに要する費用の額の算定に関する基準(厚生省告示第十九号)及び横浜市介護予防・日常生活支援総合事業実施要綱に基づく金額	【サービスに係る費用】 指定地域密着型サービスに要する費用の額の算定に関する基準(厚生労働省告示第百二十六号)及び指定地域密着型介護予防サービスに要する費用の額の算定に関する基準(厚生労働省告示第百二十八号)に基づく金額	【サービスに係る費用】 指定地域密着型サービスに要する費用の額の算定に関する基準(厚生労働省告示第百二十六号)に基づく金額
	【その他料金】 ・食費 780円(おやつ代含む) ・通常のプログラム以外に行う特別な(各自が希望する個別の)レクリエーション代 実費相当額	【その他料金】	【その他料金】
職員体制	管理者 1名(常勤・兼務) 生活相談員 3名(常勤・兼務) 介護職員 11名(常勤3名兼務/非常勤8名) 看護師4名(非常勤・兼務) 機能訓練指導員 4名(非常勤・兼務) 運転員 4名(非常勤)		
契約者数等	【延べ利用者数】 【契約者数】	【延べ利用者数】 【契約者数】	【延べ利用者数】 【契約者数】

**令和8年度 横浜市上白根地域ケアプラザ
収支予算書及び報告書（一般会計）＜地域活動交流＞**

収入の部

(単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	24,647,123	0	24,647,123	0	24,647,123	横浜市より
内 受領額	24,647,123		24,647,123		24,647,123	
戻入額					0	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）	100,000		100,000		100,000	
雑入	178,000	0	178,000	0	178,000	
内 印刷代	0		0		0	
自動販売機手数料	40,000		40,000		40,000	
その他	138,000		138,000		138,000	コピー機利用料
その他	1,221,000		1,221,000		1,221,000	施設利用料相当額、介護保険収入充当
収入合計	26,146,123	0	26,146,123	0	26,146,123	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	15,535,773	0	15,535,773	0	15,535,773	本部経費を含まない
内 本俸	10,795,773		10,795,773		10,795,773	
社会保険料	1,200,000		1,200,000		1,200,000	
手当計	2,200,000		2,200,000		2,200,000	
健康診断費	20,000		20,000		20,000	
勤労者福祉共済掛金	10,000		10,000		10,000	
退職給付引当金繰入額	1,300,000		1,300,000		1,300,000	
その他	10,000		10,000		10,000	
事務費	2,615,350	0	2,615,350	0	2,615,350	本部経費を含む
旅費	30,000		30,000		30,000	
消耗品費	620,350		620,350		620,350	
会議聘い費	0		0		0	
印刷製本費	100,000		100,000		100,000	
通信費	150,000		150,000		150,000	
使用料及び賃借料	10,000	0	10,000	0	10,000	
内 自販機目的外使用料（横浜市への支	5,000		5,000		5,000	
戻 其他	5,000		5,000		5,000	
備品購入費	70,000		70,000		70,000	
図書購入費	0		0		0	
施設賠償責任保険	20,000		20,000		20,000	
職員等研修費	5,000		5,000		5,000	
振込手数料	30,000		30,000		30,000	
リース料	100,000		100,000		100,000	
手数料	150,000		150,000		150,000	
地域協力費	30,000		30,000		30,000	
公租公課	0	0	0	0	0	
事業所税	0		0		0	
内 消費税	0		0		0	
戻 印紙税	0		0		0	
その他	0		0		0	
その他	1,300,000		1,300,000		1,300,000	
事業費	675,000	0	675,000	0	675,000	本部経費を含まない
内 自主事業費（指定管理料充当の自主事業）	575,000		575,000		575,000	
戻 其他	100,000		100,000		100,000	
管理費	6,846,000	0	6,846,000	0	6,846,000	本部経費を含まない
光熱水費	3,970,000		3,970,000		3,970,000	
清掃費	1,230,000		1,230,000		1,230,000	
機械整備費	180,000		180,000		180,000	
設備保全費	1,095,000	0	1,095,000	0	1,095,000	
内 空調衛生設備保守	390,000		390,000		390,000	
消防設備保守	30,000		30,000		30,000	
内 電気設備保守	490,000		490,000		490,000	
害虫駆除清掃保守	30,000		30,000		30,000	
駐車場設備保全費	0		0		0	
その他保全費	155,000		155,000		155,000	
共益費	0		0		0	
その他	371,000		371,000		371,000	
修繕費	474,000		474,000		474,000	予算・指定額
太陽光パネル保守点検	0		0		0	
太陽光パネル修繕（追加）			0		0	
その他	0	0	0	0	0	
内 其他			0		0	
支出合計	26,146,123	0	26,146,123	0	26,146,123	
差引	0	0	0	0	0	

自主事業費 収入	100,000	0	100,000	0	100,000	
自主事業費 支出	575,000	0	575,000	0	575,000	
自主事業 収支	△ 475,000	0	△ 475,000	0	△ 475,000	

管理許可・目的外使用許可に関わる収入	40,000	0	40,000	0	40,000	目的外使用許可（自販機）による手数料収入
管理許可・目的外使用許可に関わる支出	5,000	0	5,000	0	5,000	目的外使用許可（自販機）による横浜市への支出
管理許可・目的外使用許可に関わる収支	35,000	0	35,000	0	35,000	

※各大項目の内訳については、「その他」欄に集約して記載している場合もあります。

令和8年度 横浜海上白根地域ケアプラザ
収支予算書及び報告書（一般会計）＜包括等＞

収入の部

(単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料【包括】	35,047,819	0	35,047,819	0	35,047,819	横浜市より
内 受領額	35,047,819		35,047,819		35,047,819	
誤 戻入額					0	
指定管理料【介護予防】	154,000		154,000		154,000	横浜市より
指定管理料【チームオレンジ】	100,000		100,000		100,000	横浜市より
指定管理料【生活支援】	6,412,405	0	6,412,405	0	6,412,405	横浜市より
内 受領額	6,412,405		6,412,405		6,412,405	
誤 戻入額					0	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【包括】	70,000		70,000		70,000	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【介護予防】	5,000		5,000		5,000	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【生活支援】	0		0		0	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【チームオレンジ】	0		0		0	
雑入	0	0	0	0	0	
内 印刷代	0		0		0	
誤 自動販売機手数料	0		0		0	
その他	0		0		0	
その他	1,139,250		1,139,250		1,139,250	
収入合計	42,928,474	0	42,928,474	0	42,928,474	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	38,756,474	0	38,756,474	0	38,756,474	本部経費を含まない
内 本俸	23,166,474		23,166,474		23,166,474	
誤 社会保険料	4,500,000		4,500,000		4,500,000	
手当計	9,500,000		9,500,000		9,500,000	
健康診断費	50,000		50,000		50,000	
勤労者福祉共済掛金	30,000		30,000		30,000	
退職給付引当金繰入額	1,500,000		1,500,000		1,500,000	
その他	10,000		10,000		10,000	
事務費	925,000	0	925,000	0	925,000	本部経費を含む
内 旅費	50,000		50,000		50,000	
誤 消耗品費	474,000		474,000		474,000	
会議随い費	0		0		0	
印刷製本費	50,000		50,000		50,000	
通信費	230,000		230,000		230,000	
使用料及び賃借料	5,000	0	5,000	0	5,000	
内 自販機目的外使用料（横浜市への支出）	5,000		5,000		5,000	
誤 その他	0		0		0	
備品購入費	30,000		30,000		30,000	
図書購入費	0		0		0	
施設賠償責任保険	5,000		5,000		5,000	
職員等研修費	5,000		5,000		5,000	
搬入手数料	10,000		10,000		10,000	
リース料	25,000		25,000		25,000	
手数料	1,000		1,000		1,000	
地域協力費	30,000		30,000		30,000	
公租公課	0	0	0	0	0	
内 事業所税	0		0		0	
誤 消費税	0		0		0	
印紙税	0		0		0	
その他	0		0		0	
その他	10,000		10,000		10,000	
事業費	1,245,000	0	1,245,000	0	1,245,000	本部経費を含まない
内 協力医	630,000		630,000		630,000	予算：指定額
誤 自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【包括】	335,000		335,000		335,000	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【介護予防】	159,000		159,000		159,000	
誤 自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【生活支援】	21,000		21,000		21,000	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【チームオレンジ】	100,000		100,000		100,000	
その他	0		0		0	
管理費	1,876,000	0	1,876,000	0	1,876,000	本部経費を含まない
内 光熱水費	1,100,000		1,100,000		1,100,000	
誤 清掃費	330,000		330,000		330,000	
機械整備費	50,000		50,000		50,000	
設備保全費	296,000	0	296,000	0	296,000	
内 空調衛生設備保守	105,000		105,000		105,000	
消防設備保守	8,000		8,000		8,000	
誤 電気設備保守	135,000		135,000		135,000	
害虫駆除清掃保守	7,000		7,000		7,000	
駐車場設備保全費	0		0		0	
その他保全費	41,000		41,000		41,000	
共益費	0		0		0	
その他	100,000		100,000		100,000	
修繕費	126,000		126,000		126,000	予算：指定額
内 其他	0	0	0	0	0	
誤 其他	0		0		0	
支出合計	42,928,474	0	42,928,474	0	42,928,474	
差引	0	0	0	0	0	

自主事業費 収入	75,000	0	75,000	0	75,000	
自主事業費 支出	615,000	0	615,000	0	615,000	
自主事業 収支	△ 540,000	0	△ 540,000	0	△ 540,000	

管理許可・目的外使用許可に関わる収入	0	0	0	0	0	目的外使用許可（自販機）による手数料収入
管理許可・目的外使用許可に関わる支出	5,000	0	5,000	0	5,000	目的外使用許可（自販機）による横浜市への支出
管理許可・目的外使用許可に関わる収支	△ 5,000	0	△ 5,000	0	△ 5,000	

※各大項目の内訳については、「その他」欄に集約して記載している場合もあります。

令和8年度 地域ケアプラザ収支予算書及び報告書＜介護保険事業分＞

施設名：横浜市上白根地域ケアプラザ

令和8年4月1日～令和9年3月31日

(単位：千円)

	科目	第1号介護予防支援			介護予防支援			居宅介護支援			通所介護			第1号通所介護		
		予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引
収入	介護保険収入			0	16,931		16,931	15,560		15,560	71,922		71,922			0
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	140	0	140	0	0	0
	事業・負担金収入			0	0		0	0		0	20		20			0
	サービス区分繰入金収入			0	0		0	0		0	0		0			0
	受入研修費収入			0	0		0	0		0	120		120			0
				0			0			0			0			0
				0			0			0			0			0
	その他			0			0			0			0			0
	収入合計(A)	0	0	0	16,931	0	16,931	15,560	0	15,560	72,062	0	72,062	0	0	0
支出	人件費			0	6,744		6,744	11,900		11,900	50,789		50,789			0
	事務費			0	61		61	85		85	977		977			0
	事業費			0	198		198	738		738	11,008		11,008			0
	管理費			0	0		0	73		73	6,658		6,658			0
	その他	0	0	0	7,675	0	7,675	418	0	418	1,373	0	1,373	0	0	0
	利用者負担軽減額			0	0		0	0		0	0		0			0
	消費税			0	0		0	0		0	0		0			0
	介護予防プラン委託料			0	7,545		7,545	0		0	0		0			0
	拠点区分間繰入金支出			0	0		0	288		288	1,373		1,373			0
	サービス区分間繰入金支出			0	0		0	0		0	0		0			0
	固定資産取得支出			0	130		130	130		130	0		0			0
	その他			0	0		0	0		0	0		0			0
	支出合計(B)	0	0	0	14,678	0	14,678	13,214	0	13,214	70,805	0	70,805	0	0	0
収支 (A)－(B)		0	0	0	2,253	0	2,253	2,346	0	2,346	1,257	0	1,257	0	0	0

※ 介護予防プランを他事業者へ委託する場合の取扱は、介護報酬を一旦全額収入に計上した後、他事業者へ委託料として支払う分を支出に計上してください。

※ 上記以外の事業を実施している場合は、事業ごとに列を追加して記載してください。

令和8年度 自主事業計画書・報告書

■ 事業	■ 事業の性質	■ 主な対象者、従たる対象者
1：地域活動交流事業 2：地域包括支援センター運営事業 3：生活支援体制整備事業 4：共催（１と２） 5：共催（１と３） 6：共催（２と３） 7：共催（１と２と３）	1：優先的に取り組みが求められる事業 2：福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業	1：高齢者 2：障害児・者 3：養育者及び乳幼児 4：子ども・青少年 5：地域 6：事業者 7：その他

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期	合計			
									実施回数	うちオンライン 実施回数	延べ参加人数	うちオンライン 参加人数
1	歩幅プラスで若返る！大人のウォーキング再入門	令和8年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	坂が多く筋力低下が閉じこもりとなりやすい環境因子がある地域で、誰もが参加しやすいウォーキングをツールに介護予防の普及啓発と仲間づくりの場とする	1:高齢者		・1クール3回。年間3クール実施。 ・初回計測、体操、2回目ウォーキングの実施、3回目再計測し、体の変化を実感する。 ・課題を提示し講座以外の日も運動する習慣がつく支援を実施。	0	0	0	0
2	上白根転ばん体操	平成18年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	運動が苦手な方でも気軽に参加でき、参加者同士の交流、運動や脳トレを行う機会として実施します。	1:高齢者		・体操と脳トレを実施 ・年10回 半年毎の募集 ・2コース用意し、運動強度を選べるようにすることで楽しさやモチベーションアップを図る	0	0	0	0
3	GO！GO！健康活動講座（ごこかつ）	令和6年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	介護予防の知識を得て、意欲的に自ら介護予防の活動に取り組める機会を提供することで地域の活性化を図るための支援を行う。	1:高齢者		・年10回実施(5月～概ね1ヶ月1回) ・運動、栄養、口腔ケア等高齢期に必要な情報の提供と、実施 ・都度申し込みすることで新規参加者が参加しやすくする	0	0	0	0
4	GO！GO！活+（ごこぶら）	令和6年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	介護予防の知識を得て、意欲的に自ら介護予防の活動に取り組める機会を提供することで地域の活性化を図るための支援を行う。	1:高齢者		・4月～3月まで1回/月実施(8月休み) ・体操と脳トレ ・2～3回毎に区切って募集	0	0	0	0
5	さろんdeジム	令和6年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	周辺に会館等集いの場がないエリアで、ケアプラザで行くのが困難な方も介護予防に取り組むことができるよう、個人宅開催サロンと協力し一緒に介護予防を進める活動を行うことで、継続的に活動内容に介護予防を取り入れてもらう支援を行なう。	1:高齢者	5	・サロン開催月の翌月実施で年3回 ・運動と脳トレ	0	0	0	0
6	おもちゃの貸し出し	平成12年度	1:地域活動交流事業	2:発展させるねらい	地域の親子や子育てサロンなどを対象に、地域ボランティアが製作した布おもちゃを貸し出すことで団体活動の充実や地域ボランティアとのつながり作り目的として実施します。また、製作する側のボランティアを行う意欲の向上を目的として実施します。	3:養育者及び乳幼児		・対象:地域の親子、子育てサロン等 ・地域の親子や子育てサロンなどを対象に地域VOが製作した布おもちゃを貸し出す。 ・地域ケアプラザ窓口にて申込 ・随時	0	0	0	0
7	図書コーナー	平成10年度	1:地域活動交流事業	2:発展させるねらい	地域の方に、ケアプラザに気軽に立ち寄ってもらえるよう、また図書館に向くのが難しい方にも気軽に本を読んでもらえることを目的として実施します。	5:地域		・対象:地域住民(子どもから大人まで誰でも) ・本の貸し出し ・地域ケアプラザ窓口にて申込 ・随時	0	0	0	0
8	福祉用具の貸し出し	平成9年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	緊急もしくは一時的に福祉用具が必要な方に、ケアプラザで保有する福祉用具を貸し出しすることを目的として実施します。	5:地域		・対象:地域住民(誰でも) ・福祉用具の貸し出し ・地域ケアプラザ窓口にて申込 ・随時	0	0	0	0
9	上白根ギャラリー	平成22年度	1:地域活動交流事業	2:発展させるねらい	地域住民の絵画や写真などの作品をケアプラザで飾ることによって、生きがいづくりにつなげることを目的として実施します。	5:地域		・対象:地域住民 ・絵画や写真の展示 ・地域ケアプラザ廊下に掲示 ・随時	0	0	0	0
10	上白根お楽しみサロン	平成8年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	概ね65才以上の高齢者の閉じこもり防止、外出機会の創出、仲間作りの場の提供の他、自分たちだけでは触れる機会がなかった体操や芸術に触れる機会を提供することを目的として実施します。	1:高齢者		・対象:高齢者 ・ステージ発表鑑賞、簡単な体操等 ・第3土曜日／8月休み 13時30分～15時 ・事前申込制	0	0	0	0
11	かみしらねふれあい農園	平成20年度	1:地域活動交流事業	2:発展させるねらい	農作業を通じたやりがいや仲間づくり、地域活動参加へのきっかけづくりを目的として実施します。農作物の収穫は、近隣保育園や自主事業に参加する小学生、親子サークルの収穫体験の場として提供し、地域の子どもの体験拡充につなげます。	5:地域		・対象:地域住民 ・ケアプラザ内の農園を有効活用し、野菜や花を育て、収穫物を自主事業等に使用する。 ・年12回(不定期) ・申込不要				
12	ぶらざ・かふえ・ゆるり	平成25年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	地域住民の居場所・交流の場及びコーヒーマスターボランティアの活動の場の提供を目的として実施します。	5:地域		・対象:地域住民 ・住民同士の交流の場とボランティアによる接客のためのコーヒーマスターの提供 ・第2火曜日／8月休み 13～15時 ・申込不要				
13	白根学園「麦の丘」パン販売	平成26年度	1:地域活動交流事業	2:発展させるねらい	障がい当事者の外出の機会の提供と地域住民と、の交流を図ることを目的として実施します。	6:事業者		・対象:地域住民 ・障害福祉事業所の職員と利用者によるパン販売を行う。 ・第3金曜日 11時30分～12時／1月休み ・*なくなり次第終了				
14	子どもの居場所	平成28年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	ケアプラザ近隣の小学生を対象に、学習支援を兼ねた子どもの放課後の居場所として開催。異年齢の子ども同士の交流及び地域住民サポーターとの交流を図るとともに、子育て家庭を支援します。	4:子ども・青少年		・対象:小学生 ・子どもの放課後の居場所および、子ども同士、ボランティアとの交流と学習支援 ・事前登録制 ・年51回(毎週火曜日 15時30分～17時)				
15	ユルヨ力	令和2年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	近隣に住む障がい児者を対象に、ボランティアや地域の方と交流を図りながら、通所先や家族とは異なる仲間づくりや余暇を充実させることを目的に実施します。	2:障害児・者		・対象:障がい児者とその家族 ・ボランティアと余暇活動・交流 ・事前申し込み ・第2土曜日／8月と1月休み 13時～15時				

■ 事業	■ 事業の性質	■ 主な対象者、従たる対象者
1：地域活動交流事業 3：生活支援体制整備事業 6：共催（2と3）	1：優先的に取り組みが求められる事業 2：福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業	1：高齢者 4：子ども・青少年 7：その他
2：地域包括支援センター運営事業 4：共催（1と2） 7：共催（1と2と3）		2：障害児・者 5：地域 6：事業者
3：生活支援体制整備事業 4：共催（1と2） 7：共催（1と2と3）		3：養育者及び乳幼児

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期	合計			
									実施回数	うちオンライン 実施回数	延べ参加人数	うちオンライン 参加人数
16	脳トレ！大人のそろばん教室	令和5年度	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	地域の高齢者の外出機会の創出や、仲間づくり、認知症予防や生活機能の向上を目的として開催します。	1：高齢者		対象：高齢者・地域住民 ・問題集をつかった計算をそろばんを用いて解いていく。 ・第4金曜日 10時-12時／8月休み ・事前申し込み				
17	チームオレンジ	令和7年度	2：地域包括支援センター運営事業	1：優先的に取り組み	認知症の人や家族の希望や願い、困りごとの声をともに、その実現や解決に向けた取組を、認知症の人や家族とともに地域住民や団体、企業、関係機関が連携して進める本人支援として実施します。	5：地域		・対象：地域住民 ・認知症映画上映会、認知症サポーター養成講座(協力「ひまわりの会」)などを実施 ・事前申込 ・年3回(7、9、2月) ・会場：上白根地域ケアプラザ				
18	旭区版エンディングノート活用講座	平成29年度	2：地域包括支援センター運営事業	1：優先的に取り組み	旭区版エンディングノートの普及や啓発や、遺言・相続などの関係する内容を周知することを目的として実施します。	5：地域		・対象：地域住民 ・エンディングノート、成年後見制度や遺言・相続等について専門職から講義 ・事前申込制 ・年1回				
19	権利擁護講座	令和元年度	2：地域包括支援センター運営事業	1：優先的に取り組み	成年後見制度の周知に向け、セミナーと専門職による相談会を実施します。	5：地域		・対象：地域住民 ・成年後見制度利用促進に向けたセミナーと相談会 ・年1回				
20	介護者の輪	平成27年度	2：地域包括支援センター運営事業	1：優先的に取り組み	介護している立場の方同士で語らうことで、リフレッシュや今後の生活に活かすことのできる機会となることを目的として実施します。	5：地域		・対象：地域住民 ・参加者同士の座談会。上映会や協力医との懇談等も実施 ・申込不要 ・年12回(4-3月・第1火曜日 13時30分～15時30分)				
21	紙すきをしてオリジナルメモ帳を作ろう！	令和7年度	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	小学生の夏休みの余暇活動を支援すると共に、児童家庭支援センターが関わる貧困層の昼食支援として実施します。障がい者を講師とすることで小学生と障がい者が関わり、障がいへの理解啓発につなげることも目的とします。	4：子ども・青少年	2	・対象：小学生の子ども ・講師：辻のあかりの利用者 ・紙をすいてメモ帳づくり ・事前申込制 ・年1回				
22	旭ふれあい区民まつり地域ケアプラザPRコーナー出展事業	平成24年度	7：共催（1と2と3）	1：優先的に取り組み	区民まつり来場者に地域ケアプラザについて知っていただくための機会とする。	5：地域		・パネル展示(ケアプラザの機能及び施設職員(職種別)の役割を紹介) ・地区別計画の配架 ・ゲーム企画(クイズ・輪投げ) ・啓発グッズ配布				
23	ボランティア交流会	令和5年度	1：地域活動交流事業	2：発展させるねらい	ケアプラザにボランティア登録をしている個人・団体の情報交換や交流、日頃の感謝を伝えるボランティア活動への意欲向上を目的に開催します。	7：その他		・対象：ボランティア ・お茶会(活動の紹介、活動を通じての思いの共有) ・年1回				
24	教えて！グランマ	平成26年度	1：地域活動交流事業	2：発展させるねらい	手づくりボランティアの協力のもと、入園・入学グッズづくりを通し、異世代交流の場を提供するとともに保護者支援を目的に実施します。手作りボランティアには、ボランティア活動の幅を広げるとともにボランティア活動のやりがいを感じる場を提供します。	5：地域	7	・対象：就園・就学前児童の保護者等 ・入園、入学グッズづくりの裁縫作業。手づくりボランティアによる指導 ・事前申込制 ・年2回(2～3月・13時30分-15時30分)				
25	オリジナルハンカチを作ろう！	令和8年度	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	小学生の余暇活動を支援すると共に、児童家庭支援センターが関わる家庭の昼食支援として実施します。障がい者を講師とすることで小学生の障がいへの理解啓発につなげます。ボランティアに昼食作りを依頼し、地域が子どもたちを見守る土壌や、福祉事業所とつながるきっかけ作りとします。	4：子ども・青少年	2	・対象：小学生の子ども ・講師：草木染め工房“文”利用者 ・ハンカチ染め ・事前申込制 ・年1回				
26	(仮)上白根園deジム	令和8年度	2：地域包括支援センター運営事業	1：優先的に取り組み	経費老人ホーム、上白根園は自治会にも属していないため、地域とのつながりが薄い。出かける場所、居場所を見つけるのも大変との声がありケアプラザや地域活動グループの案内などする機会を作り介護予防の普及啓発を図る。	1：高齢者		・体操や脳トレを主体に年3回実施。 ・上白根園職員と協力し事業実施。上白根園職員にも介護予防やCPIについて知ってもらう。				
27	上手に活用！シニアボランティアポイント講座	令和8年度	6：共催（2と3）	1：優先的に取り組み	健康なシニア世代がボランティア活動を通し、地域とのつながりや生きがいを持って過ごせるように支援することを目的に開催します。また、ボランティア活動を担う人材の裾野を広げ、ボランティア活動を普及啓発します。	1：高齢者	5	・対象：近隣に住む65歳以上の方(介護保険の第1号被保険者) ・シニアボランティアポイントについての説明と地区のボランティア活動の紹介 ・事前申込制 ・年1回				
28	司法書士相談会	令和8年度	2：地域包括支援センター運営事業	1：優先的に取り組み	相続など親族間の問題に困っている方も増加しており、司法書士による相談を通じて問題解決に近づくよう支援を行っていく。	1：高齢者		・対象：地域住民 ・奇数月第3土曜日 ・事前申込制(抽選にて決定)				
29	開所30周年記念事業	令和8年度	7：共催（1と2と3）	1：優先的に取り組み	上白根地域ケアプラザは平成8年度に開所して30周年を迎えます。これを記念して今まで応援していただいている地域の方々に感謝する場として記念事業を行います。	5：地域		・対象：地域住民 ・秋頃開催				